

佐原中学校の社会体験学習を行いました。

平成27年8月4日(火)から6日(木)まで、香取市立佐原中学校の生徒2名が社会体験学習で利根川下流河川事務所に来所しました。

建設工事見学、防災対策、水質調査、測量体験、河川パトロール、施設見学などを行い、直接見て体験することにより、河川行政に関わる様々な仕事について学習しました。

社会体験学習を通じて利根川の下流部についてまとめた、生徒のレポートをご紹介します。



国土交通省 関東地方整備局

1班

利根川下流河川事務所にて体験学習をさせて
もらって。

1日目

国土交通省での組織について。

国交省をまとめる組織から、審議会、施設、特別、地方支分、
外局、それ以外の大官官房、13の局、政策統括官、国際統括官、
のいろいろな事を教えてもらいました。

特にこの事務所は、地方支分部署の、地方整備局に入る事を
教えてもらい、国交省の組織は、たいへん大きいなと思いました。

次に、河川、堤防のほろたいを見るため
の、モニター室を見せてもらいました。



モニター室

川と堤防を見るカメラからの情報、
気象庁からの最新の台風、予報、天気
のようさよ、などの情報がモニターに
ずーと、ありました。二本を見て判断できるおじさん方は、すこ
しなああーと思いました。

防災ステーション

水の郷での防災教育展示室で利根川の歴史について教えて
もらいました。

利根川は人工的に作られた。

人々を苦しめた利根川。

塩害でのひどい被害。

そしてクイズをやらせてもらいました。

利根川は322kmある。



流域面積 16840km²
ハサートマップも見せてもらいました。

測量体験

細かな地形を詳細に測る、平板測量
建物をいかに測るために使う。

使い方が難しく少しのズレが出てしまった。

土地の高さを測る：水準測量

箱尺の見方があからず難しかった。
メモリの見方が人それぞれだったのでズレが平板測量より出やすかった。
下のメモリを見てしまった。

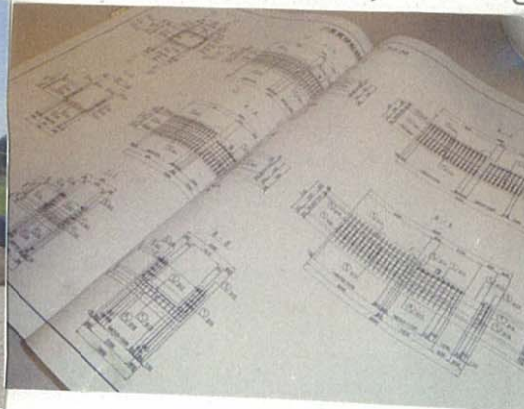
それぞれの測量もたいへんで、熱い中、寒い中
よくできるなぁーと思いました。

ごくろうさまです。

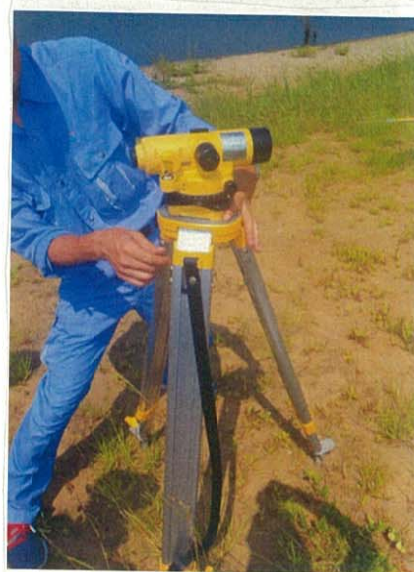
2日目

築提工事現場で工事内ようを教えてもらい、設計図を見
せてもらいました。

設計図は昔は書く
のがたいへんで、
100のパーツを書く
たいへん土が言葉
でいわかりました。



今はコンピュータの技術がしんぼしているので昔よりかんたんにと
ったようです。



水質調査

久しぶりに船にのり、楽しかったです。
 水を入れてひき上げるきょうが特につか
 きました。おもい!! 川を見ると水はまたぬ
 け本と実際に取った水は、以下ときれい
 でした。でも、つつ状の調べる物を使った所
 以外とまたぬい事がわかりました。

水温、におい、色、透視度、水素イオン濃
 度、溶存酸素、化学的酸素要求量、
 生物化学的酸素要求量、を調べさせ
 ていただきました。

パックテストがかんたんだったので楽しかったです。

利根川河口管理所

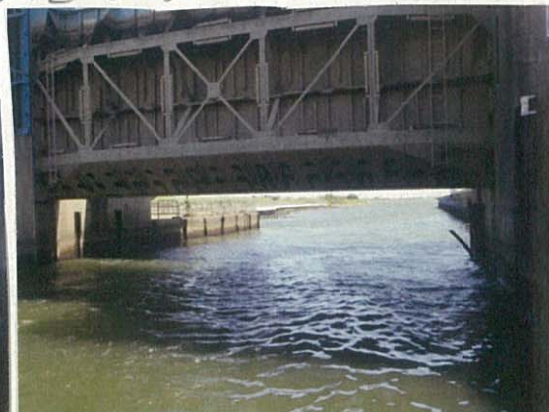
まず船で、閘
 門を訪れました。
 閘門の中の水位を
 上流側の水位に
 合わせ、門を開けま
 す。はくらくがすごかったです。

次に河口堰の説明をしてもらいまし
 ました。塩分を調節するために、門に工夫を
 して、塩分をたまるべく入、てこねないよ
 うにする。その考え方はすごいな^あーと思
 いました。

堤防点検

穴が開いている所をさすと、以外と
 深くひっくりしました。
 あうにひい!!

50cm せいの
 入った。→



小里予川水門

3日目

小里予川水門の中に入ると
いろいろな機械があり、その機械
を動かしてとてもいいと言われて
機械を動かすパソコン室に行き操作を手伝
をしました。

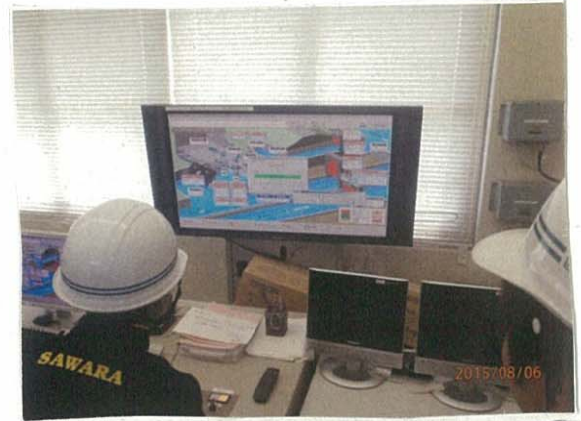
その機械を動かせる
手段がありそれもやらせて
もらいました。

パソコン室で仕事をして
いる人は機械を動か
すのに手なれていたの
ですごいな〜と思いました。

小里予川の水門

階段を上って水門の上に行くと

水門をつないでいるロープが見えて
水門を上げるたり下げたりするボタンが
ある機械を見せてもらい
水門を手動で動かす体馬舎を
やらしてもらって最後に水門を
電動で上げたり下げたりする
所を見させてくれました。



職場体験学習・国土交通省)

利根川下流河川事務所

私達は下流河川事務所でたくさんの
体験見学勉強をさせていただきました。

[1日目]～事業説明・防災対策・測量体験～

● 午前

午前では大まかな仕事の
内容などを学びました！！

～水の郷～ ここではハゲート
マッパや利根川の歴史に
ついて学びました！！

その他にも防水対策なども学び事ができま
した、これから先に水害での大きな被害が
出ない事をいのるばかりです



● 午後

午後では土地の高さを
測る(水準測量) 土地の形を
測る(平面測量)を行いました！

どちらも垂平に台を設定(設置)
するのが少し時間かかり

ました、そして測定をみんなで行いましたか、
とても難かしくものな人と実感すること
ができました、時間もなかなかかかるので
実際現場で測っている方の苦労が分かりました。

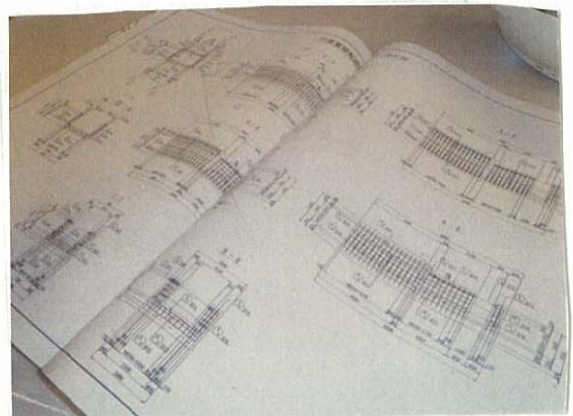


二日目

。二日目私達は朝九時に国土交通から車で五十分.....

ようやく着き、外を見回すと工事現場があり、

職員から話を聞くと設計がとても難しいらしく、昔は設計で2月かかると聞きました。工事現場を見終わり、僕は暑い中働くことがすごいなあーと、心の中で思いました。



。次に僕達は船に乗り水質検査をしました。川の上では「ホラ」という魚がたくさん跳んでいて船に魚がぶつかってきたのですごくおどろきました。水質検査では川の水をビーカーに入れて、透明度の検査や濃度の検査などを行いました。

船に乗ったことが一番の思い出になりました。



。パトロールでは、ひび割れた所が、河川で悪いことをしていないか、車移動で見たりしました。途中、大きく流れが入った所があり、そこにしるしなどをうけました。



最後の三日目

僕達は小野川水門と小野川機械所
に行きました。

ここでは機械の見学や、突電気の操作など
をしました。

そのあとに、水門の操作を体験しました。
手動だと大変だったけど自動だと、簡単に
門を開け閉めできました。



3日間のまとめ

～1日目～

まとめること1日目では防災や川について、現場の測量の仕方、などを主に学びました。この事によって川の大変さ、川の整備の大変さ、川の歴史について深く知る事ができました。

さらに現場での測量の大変さと集中力の必要さもよく知る事ができました。



～2日目～

まとめること2日目は工事現場での見学、河川のパトロール、施設の見学をしました。水質検査などのとても貴重な体験をさせていたがきました!! その他河口堰^{せき}の見学もさせていたがいて川の流れや水位のコントロールについてよくおしく学びました!!

～3日目～

まとめること3日目では水門(ポンプ)の施設の見学と広報活動について学びました。水門で川の逆流などを防いでいるのを知り、川の流れを一定にする事ができるのはすごいと思いました。そして広報活動では公務員の分類やPRなどの事も学び、この職業をする上で大切な事を学びました!!